

特集

地域で支えるみんなの電車

十和田観光電鉄開通85周年を迎えて

大型観光が全盛期の昭和40年代、鉄道は交通の花形であった。自家用車の普及拡大などさまざまな状況が、鉄道事業を失速させていった。乗客は年々減少し、鉄道事業は赤字に陥った。ワンマン乗車や従業員の賃金の見直しなど、会社は自助努力を行った。そして沿線2市1町を中心とする十和田観光鉄道活性化協議会を設立し、支援が始まる。めざましく、環境が変わる中で、この先、公共交通を維持できるのだろうか。

特集「地域で支えるみんなの電車」。

支援する自治体の財政状況が厳しさを増している現在において、わたしたちができることを考える。